

## 在留邦人インタビュー

① 現在ハバロフスクで何をされていますか？

>住友林業(株)ハバロフスク駐在員事務所で2人のロシア人スタッフと一緒に主に木材に関わる仕事をしています

② 生活をする上で、日本とロシアの共通点、相違点、驚いたことは何ですか。

>意外とアジア系の人々が多いので、街でも違和感無く溶け込めるのは驚きでした。

ロシアに来てから知りましたが、ロシアは多民族国家なので、人々は元から民族や人種の違いを意識していないのだと思います。世界からみたらそれが普通で、逆に日本が特別なのかもしれません。

③ ロシアで一番気に入っていることは何ですか（町、料理、季節等）？

緑が多く、広々しているところです。自宅からアムールスキー並木通り～レーニンスタジアムまでジョギングするのですが、四季の移り変わりも多く、とても気持ちがいいです。

④ 日本の会社とロシアの会社の相違点は何ですか？

>女性の活躍がとても目立ちます。取引先の経営者は男性が多いですが、通常の打合せ事項では女性が相手となることのほうが多いです。共働きが普通で、社会のサポートもしっかりしているのでしょう。

⑤ ロシアにおけるビジネスの魅力は何ですか？

>やはり世界最大の国土と、資源です。世界の森林資源の約20%はロシアにあると言われています。世界的な木材需要の高まりから良質の木材から伐採され、近年は品質の劣化が進んでいますが、蓄積量そのものは日本の約50億m<sup>3</sup>に対し約800億m<sup>3</sup>と膨大です。

⑥ ロシアでのビジネスで苦労していることは何ですか？

>資源に恵まれているせいか、大らかというか、緻密な部分は苦手ですね。今がよければよい、という刹那的な面があって、中長期の建設的な発想では物事を進めにくい。現在活躍する殆どの企業はソ連崩壊後に誕生、発展したもので歴史も浅いのですが、企業も成熟期に入れば目先より安定性や長期視点で考えるようになるのではと期待しています。

⑦ 今後のロシアでのビジネスの展望は？

>日本での木材の最大の用途は住宅や建設に関わるものなのですが、残念ながらその需要は日本の人口減少とともに今後減っていく見込みです。ロシアから日本に輸入される木材も減少傾向にあります。木材を原料とした製品でみた場合、まだ他にも様々な用途があります。そして日本にはそれらの価値を高める技術があります。

ロシアの潤沢な森林資源を背景に、日本の技術と絡めて貴重な森林資源の有効活用ができればと考えています。

⑧ 御社の魅力を教えてください。

住友林業は「総合住生活関連企業」です。日本ではハウスメーカーとして知られていますが、川上の山林経営から川下の木造住宅という最終製品まで、一貫して木にこだわった会社です。再生可能で人と地球にやさしい自然素材である木の価値と可能性をとことん考えていきます。前述のとおり、ロシアは住友林業のこだわる木材の世界最大級の資源国です。その価値の最大化のお手伝いを通じ、日本・ロシア両国の橋渡しのお役に立てればと考えています。



※住友林業マスコットキャラクター「きこりん」